

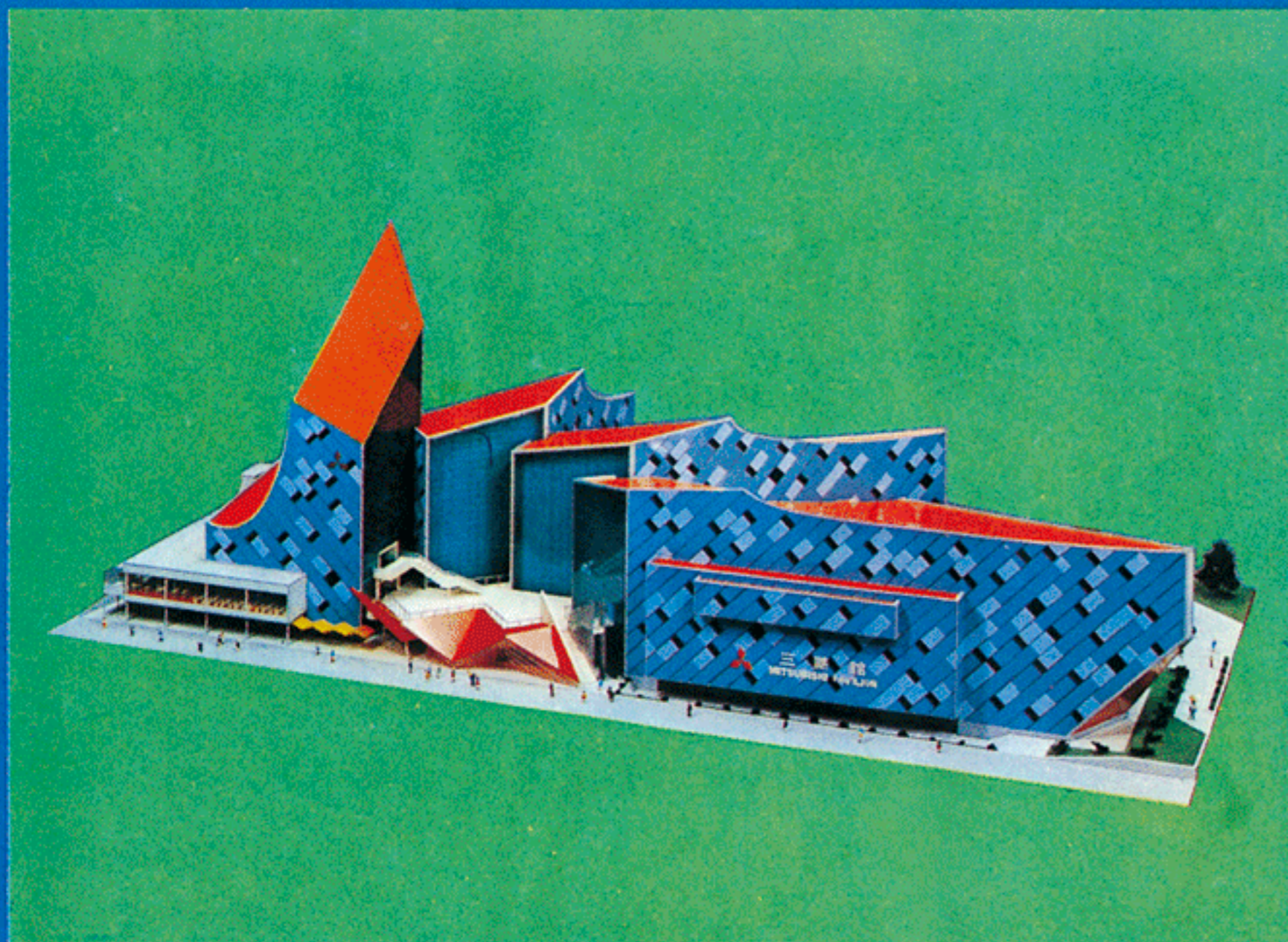
# 三菱未来館

三菱未来館・ごあんない



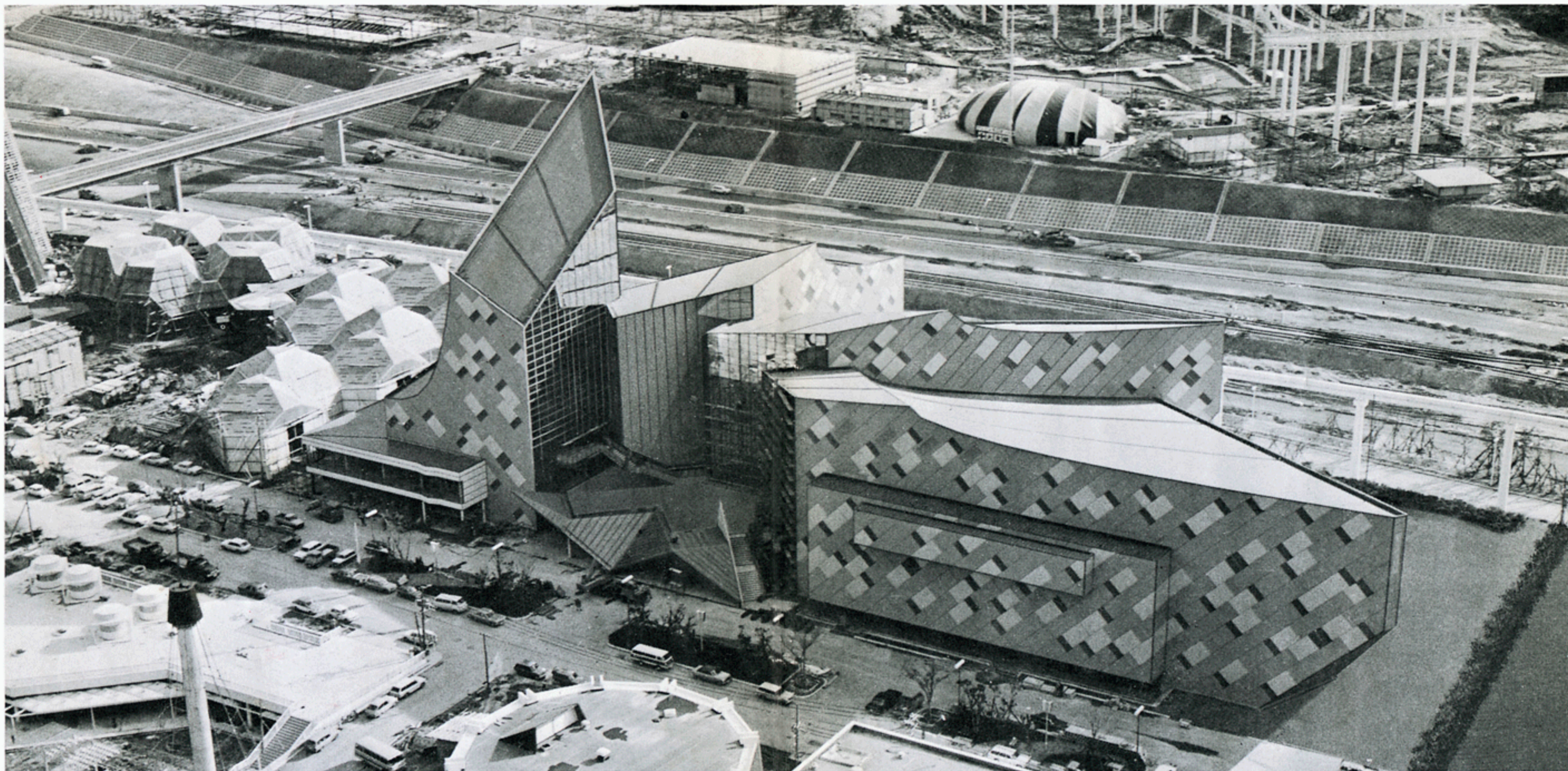
日本の自然と  
日本人の夢

三菱未来館・全景



# MITSUBISHI

日本の未来ビジョン——三菱未来館  
宇宙開発、海洋開発、都市改造への挑戦



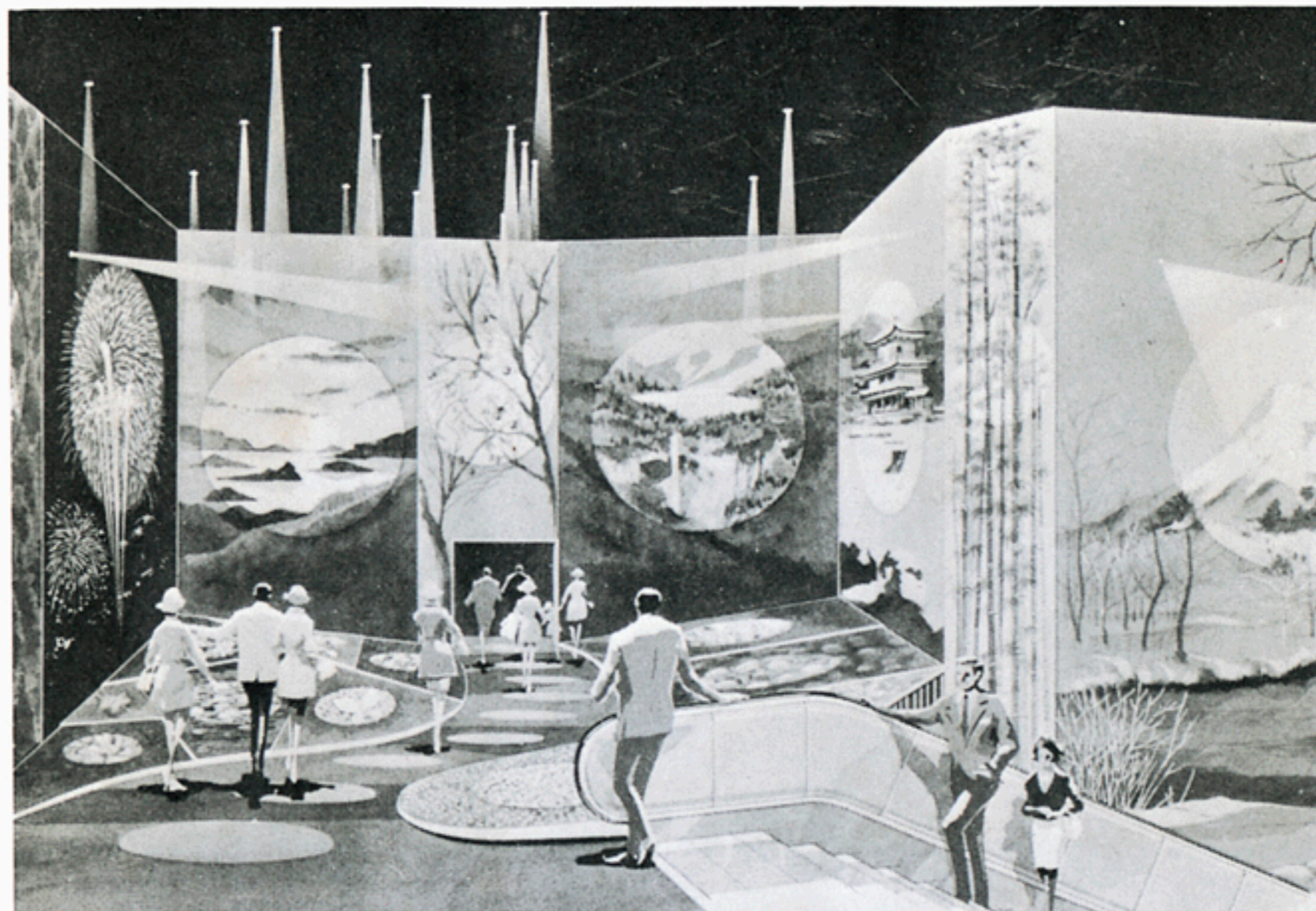
## 50年後の日本を、驚異の新技术でえがくスペクタクルショー

創業100年の三菱グループは、「日本の自然と日本人の夢」というテーマのもとに、すべての技術力と頭脳を結集し、50年後の日本の未来ビジョンを、この三菱未来館に展開しました。

私達を脅かす自然の猛威。それを克服して、いかに自然と調和した

文明を築くか——これが、三菱未来館のいだけ大きな夢です。しかし、ここにえがかれる驚異の世界は、単なる夢物語ではなく、近い将来かならず行なわれるであろう、私達日本人のかがやかしい未来の壮大なスペクタクルショーです。

## ●前室 〈日本の四季〉

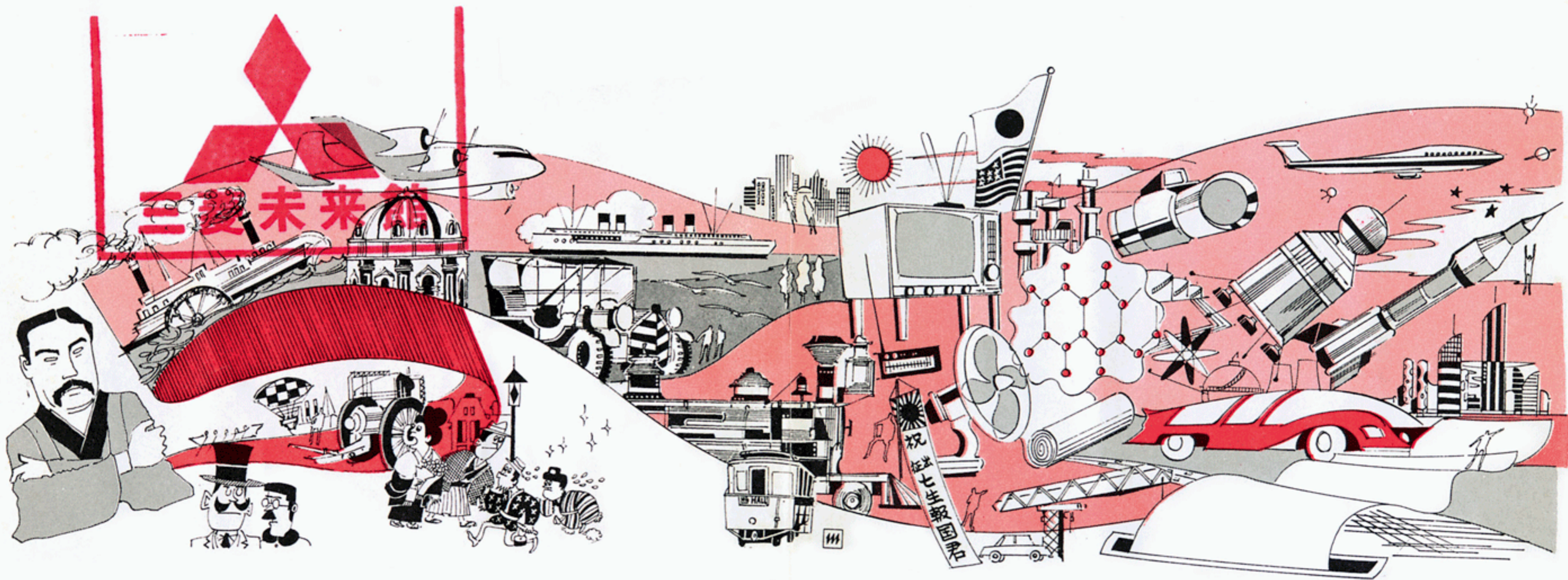


### 日本の自然美を再現

やわらかな光線と静かなムード音楽がながれる、おちついたロビー。これから、50年後のドラマチックな別世界の扉を開こうとする、あなたにやすらぎを与えます。万博会場各施設を歩きまわって、まださめやらぬ複雑な心理状態を、未知の世界への出発のために、整えていただきます。

ここから第1室まで、エスカレータの両側の壁には、日本の四季の風景が立体感豊かなカラーで、映しだされます。日本の繊細な自然の美しさが改めて感じられ、優雅な静けさをかもしだしています。しかし、その静けさは、一瞬にして破られます。

# EXPO '70



## 1870

岩崎弥太郎(1834~85)明治の海運業界に実力を発揮。三菱グループの基礎を築く。(1875)三菱汽船へ汽船払い下げ、郵便汽船三菱会社と改称して、三菱製鉄所を経営開始。(1877)西南戦争。(1879)郵便汽船三菱会社、香港航路開始。東京海上火災保険株式会社設立。

## 1880

(1880)三菱為替店開業、のちの三菱銀行。(1881)明治生命保険相互会社設立。(1885)日本郵船株式会社設立。(1887)三菱へ長崎造船所払い下げ、三菱造船所と改称。三菱倉庫株式会社創業。

## 1890

(1893)日本郵船、ボンベイ航路開始。三菱合資会社設立。(1894)日清戦争。(1895)三菱合資会社銀行部設立、のちの三菱銀行。(1896)日本郵船、北米・豪州航路開始。(1898)三菱製紙株式会社創業。三菱造船所、日本最初の大型汽船、常陸丸完成。

## 1900

(1904)日露戦争。(1905)神戸造船所設立、日本最初の浮ドック完成。(1907)旭硝子株式会社、麒麟麦酒株式会社設立。(1908)三菱造船所、日本最初のタービン船天洋丸完成。

## 1910

(1914)第1次世界大戦始まる。(1916)日本郵船の対馬丸、東航ニューヨーク線第一船として出発。(1917)三菱合資会社造船部独立、三菱造船となる。大日本電線株式会社、日本光学株式会社、日本電池株式会社設立。(1918)三菱江戸川化学株式会社、三菱鉱業株式会社設立。(1919)株式会社三菱銀行設立。

## 1920

(1921)三菱電機株式会社設立。(1923)関東大震災。(1926)日本郵船、香港・サンフランシスコ航路開始。(1927)三菱信託銀行株式会社設立。(1929)大日本塗料株式会社設立。日本郵船、サンフランシスコ線に浅間丸就航。

## 1930

(1931)三菱石油株式会社設立。(1933)三菱レイヨン株式会社創業。(1934)三菱化成工業株式会社創業(1935)三菱化工機株式会社設立、陸用ディーゼル機関SHT6型完成。(1937)日華事変。三菱地所株式会社設立。(1938)旭硝子、有機ガラス生産開始。(1939)第2次世界大戦始まる。

## 1940

(1942)三菱製鋼株式会社設立。(1945)終戦。(1946)日本国憲法公布。三菱樹脂株式会社設立。(1949)三菱自動車販売株式会社設立。

## 1950

(1950)朝鮮戦争。三菱重工業株式会社、三菱金属鉱業株式会社、三菱商事株式会社、日本建鉄株式会社設立。(1952)三菱モンサント化成株式会社設立。(1953)テレビ放送開始。(1956)三菱油化株式会社、旭ファイバーグラス株式会社設立。(1958)三菱原子力工業株式会社設立。

## 1960

(1961)ソ連宇宙船ウォストーク1号地球一周飛行に成功。(1962)三菱アルミニウム株式会社、三菱テー・アール・ダブリュ株式会社設立。(1964)第18回オリンピック東京大会開催。(1969)アポロ成功、人類初めて月面に立つ。

## 1970

(1970)日本万国博開催、三菱未来館・日本の自然と日本人の夢をえがく。



EXPO'70  
3-PT-9

# ●50年後のあなた

## 家庭

それぞれの家庭に合った、オートメーション生活がプログラミングされる。家事は、すべて機械がやるために、主婦は電子チェアにすわって、家事プログラムに合わせボタンを押すだけとなる。

世界中のテレビ中継が見られ、プールや自家用ヘリコプターが、一般の家庭に普及する。ミルクはコックをひねるだけで飲むことができ、料理は電子自動調理機をセットすれば、簡単にできあがる。

## 学校(教育)

学年別進学制から、科目別進学制に変わり、個人の能力をのばす、教育法となる。勉強の場は、家庭に移り、ワイドテレビに送られてくる教育放送を聴き、むずかしい所は、ビデオテープにとって復習をする。学校は、子供達に遊びや体育をさせることを通して、人間性や団体生活を養うという意味で重要な場所となる。教育の国際的交流が広がり、留学も、簡単にできるようになる。

## 病院

医学の発達と進歩が、病院のイメージを、ドライなものに変える。病気をなおすための病院ではなく、身心能力を身につけるための場所となる。ガンは、もちろん克服され、交通事故の時以外は、手術を必要としなくなる。人工臓器は、健康な体の一部として活躍する。いつも健康状態のデーターが、病院に管理され、もし病気があれば、病院から呼び出されるしくみになっている。

## 農業

稲作は減少して、酪農に重点を置き、多様化した専門的個別経営の農業に変化する。すべての化学と機械設備を取り入れた近代農業区は、一つの独立的な都市構造を持つ。天候は自動調整されて、人工照明により、栽培日数は短くなり能率的で生産力は増大する。農業ハイウェイを、トラクターが走り、産物は超スピードの専用列車で、首都圏に送られて行く。

## 住宅

未来の住宅には、一生のうちで唯一の財産という所有物的な考えはなくなる。交通便利な筒型の住宅に住み、内部は無駄なく機能的に設備されている。住宅の支柱は、1日中ゆっくりと回転しているので、どの部屋も、日当たりや風通しが悪いということはなく、同じような生活環境が与えられる。人間は、仕事が終わってから、本来の住宅的イメージを求めて、郊外の別荘などに移って行く。

## オフィス

会社内の業務は、完全にオートメーション化され、ボタン一つで、すべてが操作できるようになる。会社は、24時間業務を続けるが、人間の働く時間は、1日4時間に短縮される。肉体労働は、まったく姿を消し、人間は電子ビジネス装置で、いつもメカニズムと技術革新に囲まれる。通勤も、伸縮自在の高速通勤列車出現によって、通勤ラッシュは解消される。

## スポーツ

機械文明に囲まれて生活する人間にとって、もっとも人間的な行動となるのは、スポーツである。すべての人間が、スポーツを遊びとは違った感覚でおこなう。今日のように、一部の愛好家や専門家のためのスポーツではなく、日常的な義務スポーツへと変わる。新しいスポーツの分野も、次々と開発され、グライダー操縦や海底散歩などが、一般的で人気のあるスポーツとなる。

## 漁業

漁業衛星が、魚の群を発見すると種類や量などを、漁業レーダーで知らせてくる。人工のアワの網で魚に電気ショックを与え漁獲する。魚はすぐに工場船で加工され、輸送ヘリコプターで、国内・国外に運ばれる。また、一定の漁獲が終わると、魚の減少を防ぐために、漁獲した魚の栄養分を、海水に混ぜておく。淡水魚の人工養殖技術も発達して、マスやウナギは、世界中に輸出される。

# 1. ●日本の自然



## 暴風雨に荒れ狂う海があなたをおそう！

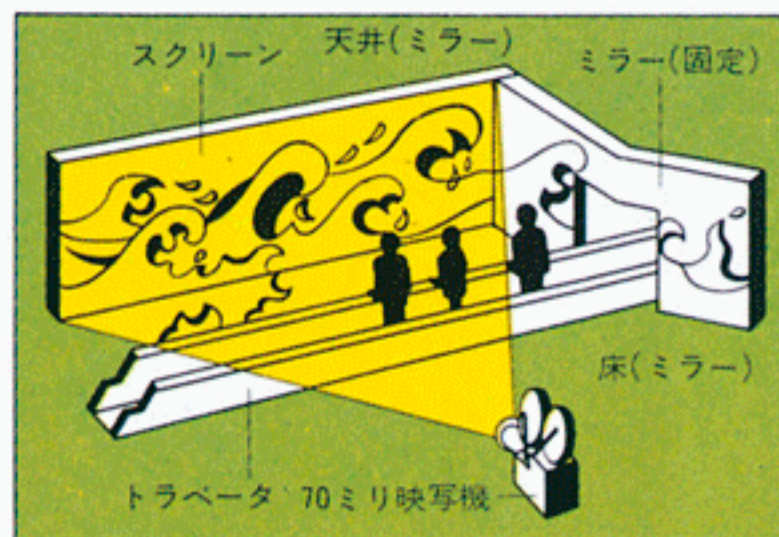
第1室に入ったとたん、あなたは、凄まじく荒れ狂う暴風雨の海に放りだされます。

白くそそり立つ三角波や巨大なうねりが、あなたをめがけて打ち寄せ、いなづまが雲間をさき、雷鳴がとどろきます。

ダムの決壊！人家をおそう鉄砲水。

渦巻く波。まっ二つに裂け沈みゆく漁船……

あなたは、恐るべき大自然の猛威に、圧倒されるでしょう。



## ホリ・ミラー・スクリーン

あなたを、この驚異の世界に陥れるのは、新技術のホリ・ミラー・スクリーンです。このスクリーンは、多面スクリーンとマジックミラーの併用により、部屋全体を継ぎ目のない立体スクリーンにかえて、あなたを画面の中へ溶けこませるほどの、迫真力を持っています。



## 激烈な火山爆発が、地球最後の日を思わせる。

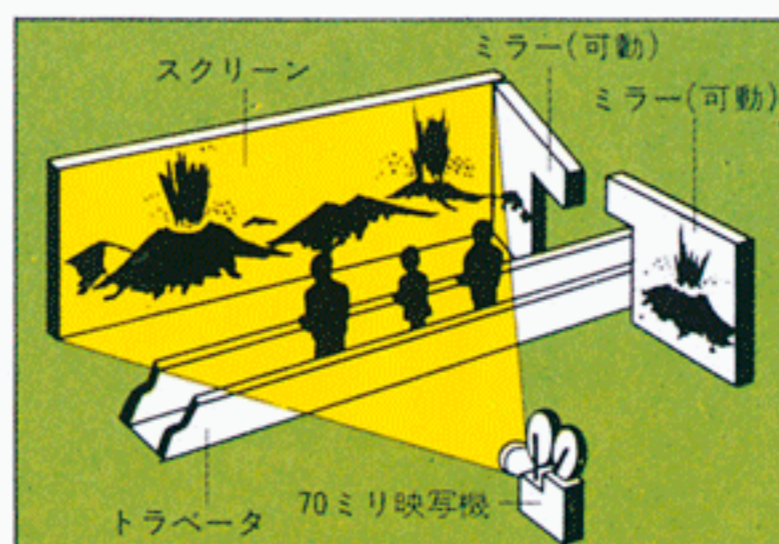
やがてあたり一面は、火の海とかわります。

凄まじい火山の爆発が、熱と地震の地獄絵を展開。

まっかに燃えた火山弾や火山礫が空中を飛びかい、不気味に流れる熔岩流は、あなたをのみこむかのように押し寄せます。

爆発音がトラベータをゆさぶり、逃げ出したいほどの恐怖感に、あなたをおとし入れます。

ここでは、大自然のエネルギーの驚異と美しさが、あなたの心を強くとらえるでしょう。



## ホリ・ミラー・スクリーン

暴風雨の部屋は、左右がスクリーン。床・天井・前後はすべてカガミとなっています。カガミには角度が付けてあり、スクリーンの効果を高めています。

火山の部屋では、前後2面の壁面カガミが0度から6度まで動くため、火山の鳴動のような錯覚を引き起こします。

## 2. 日本の空

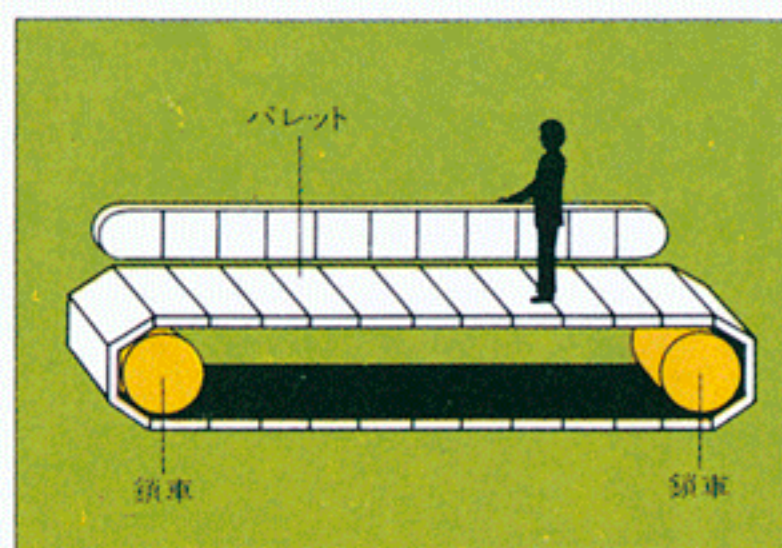


### 宇宙ステーションから見る、音のない神秘的な“青”の世界

第2室には、“透明な青”に包まれた宇宙空間が広がります。ゆるやかに自転する地球を見ながら、宇宙ステーションの世界気象管理センター・情報局ドームへ。

世界の気象図。各国語でアナウンスされる各地の気象状況の変化。突然、コンピュータが赤ランプを激しく点滅させ、超大型台風の日本接近を暗示します。

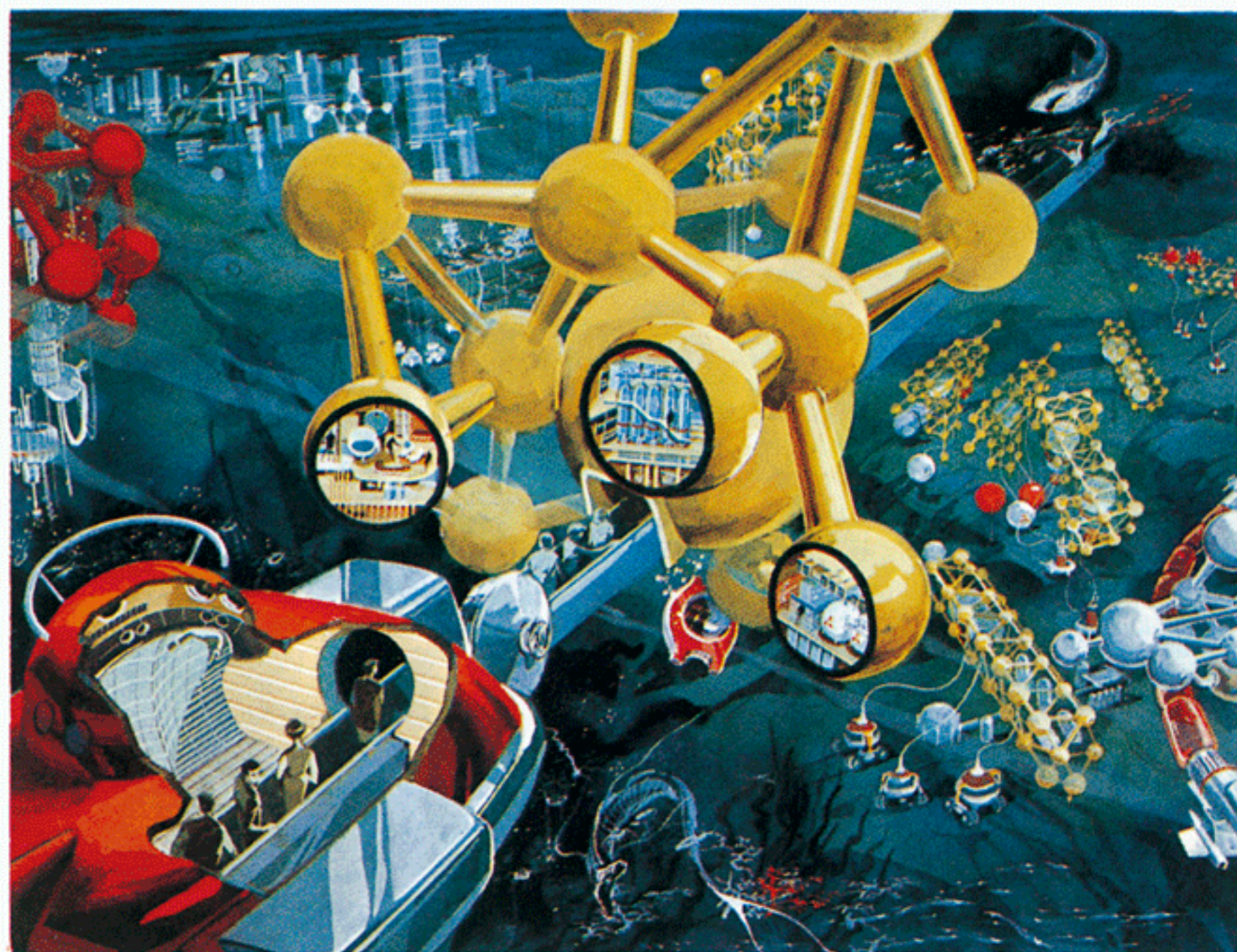
つぎの管理局ドームでは、台風を制圧する、気象コントロール・ロケット隊の活躍が見られます。



### トラベータ

25分間の館内見学中、あなたの足となるトラベータは、分速16メートルの動く歩道です。このトラベータは、安全性の高いチェーン・バレット方式で、重いものでも安定して運べるようにできています。また暑さをやわらげるために、トラベータの手すりから冷風が吹き出すしくみになっています。

## 3. 日本の海

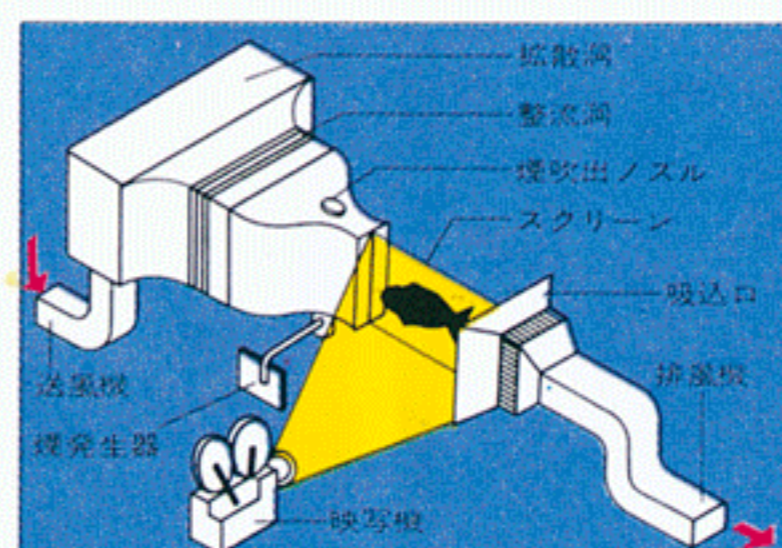


### 幻想的な未来ユートピアの海底都市

周囲は幻想的なマリンスノーの深海に変わり、あなたは海の神秘的なファンタジーを楽しみながら、大陸棚を利用した海底総合開発区へ進みます。

ここでは、海底農場、海底油田の油井、海底発電所などの海洋産業が現われ、なかでも幾何学的に整然とつくられた海底都市には、目をみはることでしょう。

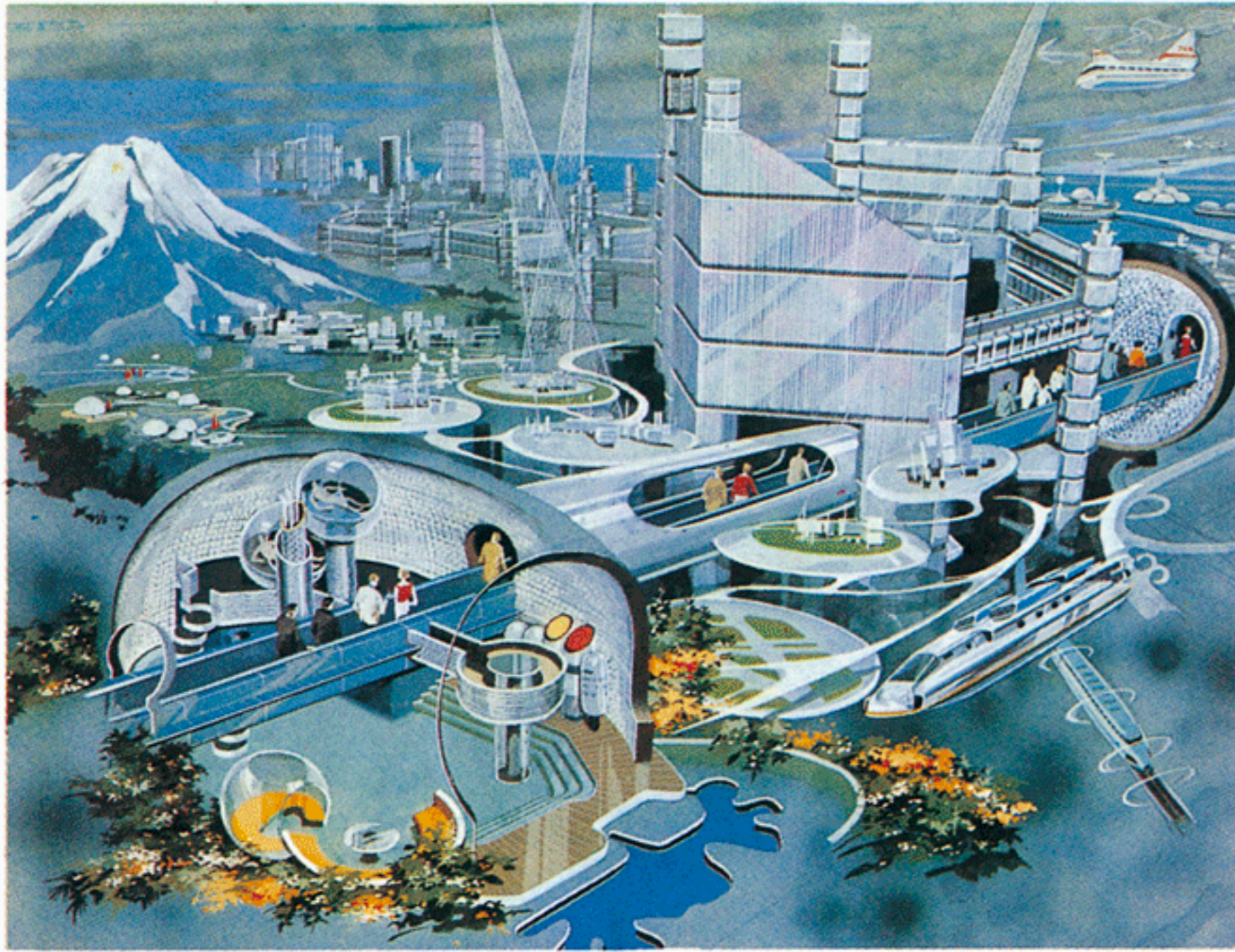
第3室の終わり近くに、あなたは襲いかかる巨大なフカの中を、くぐり抜けるという奇妙な体験をします。



### スモークスクリーン

片側から特殊な煙を噴出して、スクリーンを作り、その上に画像を映写します。あなたに突如おそいかかるフカを、写し出しても、その中を簡単に、くぐり抜けることができます。この独創的なスモークスクリーンは、三菱グループと東宝が共同で開発したものです。

# 4. 日本の陸

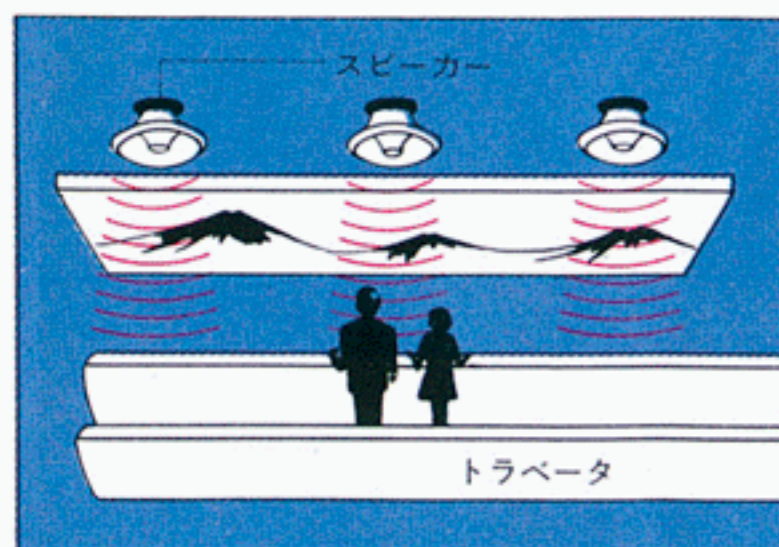


## 自然と機械がとけあう未来都市

海の緑に変わって、陸地の新緑に囲まれた未来住宅が、あなたを迎えます。室内には、壁掛テレビ、ホーム電子頭脳、電子調整器などが普及し、窓越しに見える富士山麓の新居住区は、21世紀の居住圏の広がりを表わしています。

農業は、機械化された集約農業となり、都心部では、超高層ビル群がそびえたっています。

緑に恵まれた居住区と、機能的な都心部の結合が、自然と機械の調和を物語り、その中で、快適な生活圏を生みだしています。



## 超指向性スピーカー

今までのスピーカーのように、広範囲に音の広がりを持つものとは違い、指向性の強いスピーカーで、スポット的な音響効果を持っています。

このスピーカーはトラベータの両側に取り付けられ、各室の雰囲気を高めています。

# 5. あなたも参加する



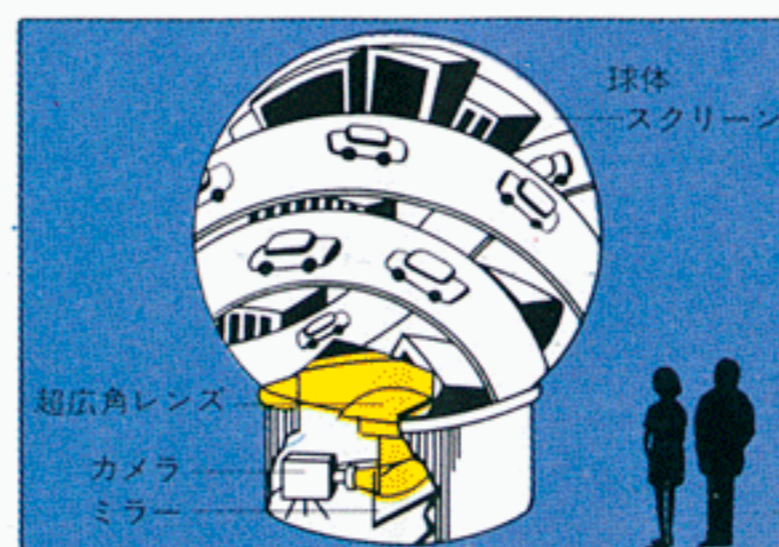
## あなたが主役のレクリエーション・ルーム

2020年の“驚異と夢”の世界から帰ったあなたは、大スペースを持つレクリエーション・ルームに導かれます。

この部屋は、あなた自身が参加して遊ぶ、プレイングシステムになっています。

3階には、ステージに立つあなたを1TVがとらえ、即時巨大なスクリーンに5倍の大きさに映し出す、「シルエットロン」があります。

2階へ降りると、池の中央に「球体スクリーン」が浮かび、いろいろな三次元の映像を、作り出しています。



## 球体スクリーン

直径2.5メートルの球面に展開される、全方向性の映像は、今までの正面単独スクリーンと違い、三次元の映像を演出できます。発光体の球体スクリーンの内部に、日本で初めての220度のワイドレンズを使用し、床下の映写機から投影した映像を、球の外側から見る装置です。



# MITSUBISHI

## 三菱グループ出展35社

|        |           |               |           |
|--------|-----------|---------------|-----------|
| 三菱重工   | 三菱銀行      | 三菱化工機         | 三菱江戸川化学   |
| 三菱鉱業   | 三菱地所      | 三菱樹脂          | 日本郵船      |
| 三菱電機   | 三菱化成      | 三菱原子力         | 三菱アルミニウム  |
| 旭硝子    | 三菱商事      | 三菱ター・アール・ダブリュ |           |
| 三菱倉庫   | 三菱信託      | 三菱自動車販売       | 東京海上 明治生命 |
| 三菱金属鉱業 | 三菱石油      | 麒麟ビール         | 日本光学      |
| 三菱レイヨン | 三菱製鋼      | 大日日本電線        | 大日本塗料     |
| 三菱製紙   | 三菱セメント    | 旭ファイバーグラス     | 日本建鉄      |
| 三菱油化   | 三菱モンサント化成 | 日本電池 (順不同)    |           |

三菱万国博総合委員会委員長  
寺尾一郎(三菱商事副社長)  
総合プロデューサー  
田中友幸(東宝プロデューサー)

顧問グループ(五十音順)  
東海大学教授理学博士前气象研究所長(气象学)  
荒川秀俊  
東京大学助教授工学博士(光学)  
小瀬輝次  
東京大学教授理学博士(地学)  
片山信夫  
東京水産大学教授理学博士(海洋物理学)  
佐々木忠義  
東京工業大学教授(社会工学)  
林雄二郎  
起案グループ  
田中友幸 星新一(SF作家) 矢野徹(SF作家)  
福島正実(SF作家) 真鍋博(イラストレーター)

アートディレクター 松山崇  
特技監督 円谷英二  
音楽構成 伊福部昭  
三菱技術者グループ  
代表 三菱重工業(株)技術管理部長  
工学博士 岡村健治  
ほか、三菱技術協力委員会  
建築設計 三菱地所(株)  
施工 (株)竹中工務店・戸田建設(株)  
施工協力  
三菱建設(株)  
近畿電気工事(株)・新菱冷熱工業(株)・(株)弘電社  
制作 三菱万国博総合委員会  
制作協力  
東宝(株)  
三和アドバタイジング(株)三和通信社  
近畿電電広告商事(株)・第一企画(株)  
長瀬産業(株)コダック製品部・(株)大沢商会  
(株)東京現像所・(株)エルモ社  
東芝ホトホーン(株)・日本クラウン(株) (順不同)

## 万国博会場地図

